

12月 新緑会活動報告

新緑会で広報を担当している野口智代です。12月20日に緑土会×新緑会の交流企画「ハッ場ダム見学ツアー」の報告をしたいと思います。

当日は学部3年生が15名、学部4年生が2名、修士1年生が9名、教員が1名、緑土会の方が4名の計31名の参加者で10時30分に本学を出発し、15時から現場見学に参加、20時に解散の流れで行われました。

移動中のバスでは、緑土会と新緑会の交流会が行われ、緑土会の4名の方たちを4~7名程度の学生が囲う形で懇談し、普段執り行われるOBの方との懇談会と異なる形式であったため、密に話すことができ、また距離が近かったためぶっちゃけ話等も聞け、学生からは「OBの方たちと近くで話すことができた」「学生の研究内容なども考えて話をしてくださって、質疑も行きやすかった」などの好意見を得られることができました。

ハッ場ダムの見学ツアーはダム上部(右岸天端)、ダム下部(左岸下流)の見学を行いました。実際の写真を下に示します。





ダムの上から見た風景からも分かるように、小さく映っている人に対して扱っている1つ1つの機材や部品が大きく、ダム施工のスケールの大きさを感じました。また施工が約半分ということもあり、ダムの水を吸い込む吸い込み口なども見ることができ、滅多に見ることができないことだと思うので、とても貴重な施工部分を見ることができました。

ダムの下部から見た施工部分は改めてスケールの大きさに驚くとともに、上部からは見ることができなかった施工の細かい部分を見ることができ、施工の際に使用する機材などの運搬を近くで見ることができました

とても大規模なダムの建設は今後日本で見ることはできないかもしれないため、貴重な見学となりました。またダムの建設は今まで見てきた現場とは異なり、スケールの大きさはもちろん、作業している方の多さ、機材の大きさもスケールが大きいと思いました。

最後に、今回の緑土会×新緑会の交流企画「ハッ場ダム見学ツアー」にご参加いただいた、萩原秀司様、小林哲男様、船越靖彦様、宮田栄二郎様、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。